

大在地域包括支援センター

大分市大在中央1丁目4番13号B

電話:528-9295



大在地域包括支援センターでは、介護保険の手続き、介護予防事業、高齢者の総合相談、健康問題などの様々な相談をお受けしています。介護予防教室の企画・認知症サポーター養成講座の開催・虐待事例などに対応しています。そして、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、支援を行っています。

来所される方は、高齢者ご本人、家族、知人、近隣者、自治委員・民生委員など様々な方が来られています。

高齢者の事や介護の事でお困りのことがあれば、何でもご相談ください。

大在地区の人口と高齢化率

※ 令和3年3月末現在

	世帯数	人口	男	女	高齢化率 (%)	高齢者数 (人)
大在校区	8,811	17,434	9,100	8,334	20.5	3,567
大在西校区	4,921	11,631	5,893	5,738	14.7	1,711
大在地区	13,734	29,067	14,993	14,074	18.2	5,278

約8年間前の平成25年12月末は、大在の人口は27,558人でした。その時から約1,500人増えています。

大在の高齢化率は18.2%と大分市平均より10%近く低いです。

大分市全体

人口：477,448人
65歳以上人口：131,717人
高齢化率：27.6%

活動の報告 (ケアマネジャーの研修)

ケアマネジャーは、要支援や要介護の方がサービスを利用するときにサービス計画を立案します。まず集めた情報を整理して、課題を抽出していきます。その際に「課題整理総括表」を用いることがあります。

『課題整理総括表の理解と活用』について、いずみ在宅介護支援事業所の若林幹雄さんにご講義を頂き、15名が学びました。共通の事例を用いて利用者の生活状態を把握し、日常生活を阻害している要因を検討しました。その阻害要因に対して、どのような支援を行うことで、その方の状態がどのように改善する可能性があるのか「見通し」を立てました。最終的には、日常生活における解決すべき課題（ニーズ）を導き出し、居宅介護サービス計画へ繋げ、利用者や家族への支援へ活かすことを学びました。



令和3年5月14日
大在公民館

新年度が始まり慌ただししい時期でしたが、居宅介護事業所と地域密着型サービス事業所のケアマネジャー、包括職員の23名が出席しました。

第一部は、今年度開催予定の自立支援型ケアプラン相談会や弁護士と行う事例検討会、提出様式の変更等の説明や伝達事項を行いました。第二部は、『障害年金制度』について、社会保険労務士事務所 SRI 大分障害年金サポートの飯塚秦雄先生（社会保険労務士）より、

ご講義いただきました。障害年金の概要、障害年金請求代理人とは、特定疾病と障害年金、相談窓口などをわかりやすく説明していただきました。参加者より「障害年金のことがよく分かった。」「利用者様やご家族より相談を受けた際は資料を用いて説明や相談窓口の紹介を行いたい」等の感想あり、大変有意義な研修で、受講した方からも好評をいただきました。



令和3年4月14日 大在公民館

包括訪問記録より…



ある日、大在包括へ一本の電話がかかってきました。「私は大分花子、90歳、一人暮らしです。最近ご飯を作ったり買い物に行くのがよだきなくなってきました。近くに息子夫婦も住んでいて、時々差し入れもくれるんですけど、近所の一人暮らしの友達が「包括に頼んでお弁当を配達してもらったらいいで」と教えてくれたけど、弁当をとりたいたいんですけど」とのことです。さっそく包括職員は「食の自立支援事業」の手続きをしようと配食業者のパンフレットを持って訪問しました。手続きのため、お話を詳しく聞いていく中で、息子さん夫婦の家は、大分花子さんの真隣にあって、玄関から玄関が10メートルほどしか離れていないことがわかりました。大分市の実施している高齢者サービス「食の自立支援事業」は、制度を利用できる対象の高齢者が「同一敷地内または隣地に家族が住んでいないもの」となっているため、包括職員は「食の自立支援事業」が使えないなあと思いました。そこで、大分花子さんに説明をした上、持参したパンフレットの中から大分市「食の自立支援事業」制度を使わなくても配食を取ることができる事業所を紹介し、次の週から大分花子さんは月・水・金で夕食を配達してもらうことができました。

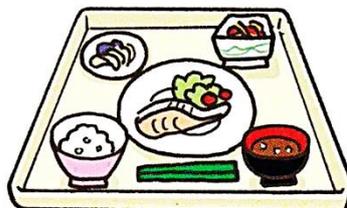
このように、最初に電話があったときに詳細を聞き取るようにはしているのですが、なかなか顔を合わせてお話をしないと難しいこともあります。たとえ制度が使えなくても、なんとか皆様の生活のために使える制度や社会資源などがないかと一緒に考えさせていただきますので、お気軽にお電話くださいね。

(個人情報等は特定できないように変更しています)

食の自立支援事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などで、身体的な衰えなどにより調理をすることが困難な世帯に対して、訪問によるアセスメントを行った上で、栄養のバランスがとれた食事を届けることにより、より充実した在宅生活を送っていただきます。

- 利用回数……最高週6回(食)
- 利用者負担…1食あたり 400円
- 申し込みは各地域包括支援センター



令和3年度版
高齢者福祉サービス
介護保険 パンフレット
(大分市福祉保健部
長寿福祉課)より引用

こんにちはニューフェイスです

5月より新しく大在地域包括支援センターに配属となりました弓削俊介(ゆげしゅんすけ)と申します。コロナ禍や様々な不安がある世の中になりましたが、皆さんが安心して生活していける一助となれたらと思います。よろしくお願いたします。

